

はじめに

郡山市立美術館は、1990（平成2）年に建設工事が始まり、1992（平成4）年11月21日に開館しました。以来、2017（平成29）年9月30日まで159回の展覧会を開催し、様々な教育普及活動を行ってきました。

その間約25年に館内の設備は、大部分が耐用年数を超え、老朽化が顕著になりました。そのため、2017（平成29）年10月1日から2018（平成30）年7月6日まで休館して改修工事を実施しました。

今回の改修工事には、安全な施設管理を図るための空調システムの更新をはじめ、企画展示室の天井にあるルーバーを外し、新たなライティング・ダクトを設置するなど、大規模な工事も含まれました。

休館中には、収蔵品の維持管理を継続しつつ、休館中の状況を活かした教育普及活動や展示活動を計画的に行いました。

以上の休館期間中に行った当館の改修工事と活動の記録として、本報告書を発行します。

平成31年3月29日
郡山市立美術館



目次

郡山市立美術館改修工事及び休館中の活動報告 平成 29-30 年度

目次

はじめに	1
I 改修工事	3
1 空気調和設備	3
2 館内監視システム	4
3 企画展示室天井	5
4 常設展示室天井	7
5 企画・常設展示室照明の LED 化	8
6 その他	11
II 保存管理事業	13
III 休館中の事業	14
1 アート・カフェ	14
2 美術館館外プロジェクト	18
3 アート・バザール in 郡山市立美術館	25
4 講師派遣事業	25
IV 利用者数	27
V 刊行物	28
VI 管理運営	30
1 建築設備概要	30
2 郡山市立美術館職員名簿	31
3 利用案内	32

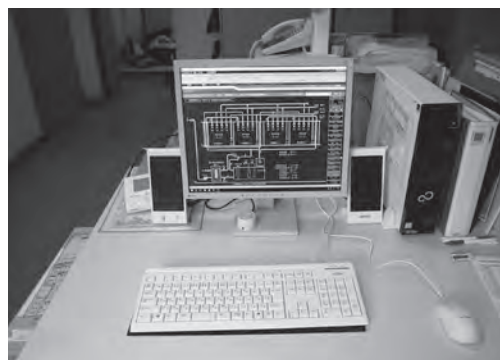
I 改修工事

1992（平成4）年の開館から25年が経過し、館内設備の大部分が耐用年数を超えており老朽化が進行していた。2017（平成29）年度までは主要な設備は適時点検を行うとともにその他設備の不具合箇所等を整備しながら、施設の安全な管理運営を行ってきた。だが、部品の製造停止により修理不可能となっている設備や、機器全体の老朽化から一部分の修理では対応できない設備が増えてきたため、2017（平成29）年10月から2018（平成30）年6月にかけて空調設備を中心に老朽設備の改修を実施し、安全な施設管理を図ることができるようにした。

1 空気調和設備

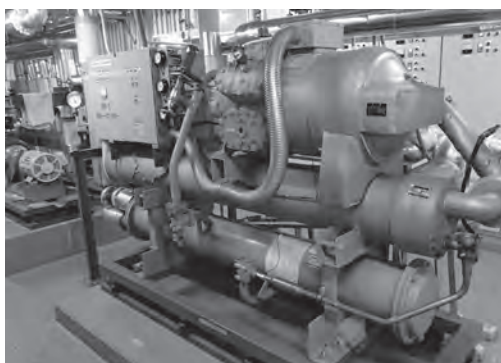
1) 中央監視システムの交換

展示室を含む全館の温湿度管理のためシステムを全交換した。



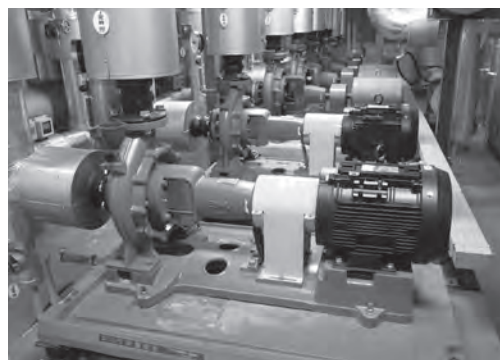
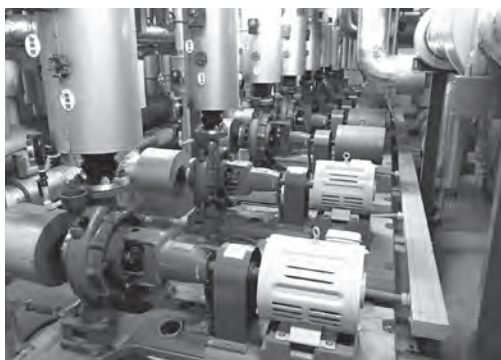
2) 水冷チラー（冷凍機）の交換

展示室の空調として夏は除湿、冬は温度調節を継続して行うため交換した。



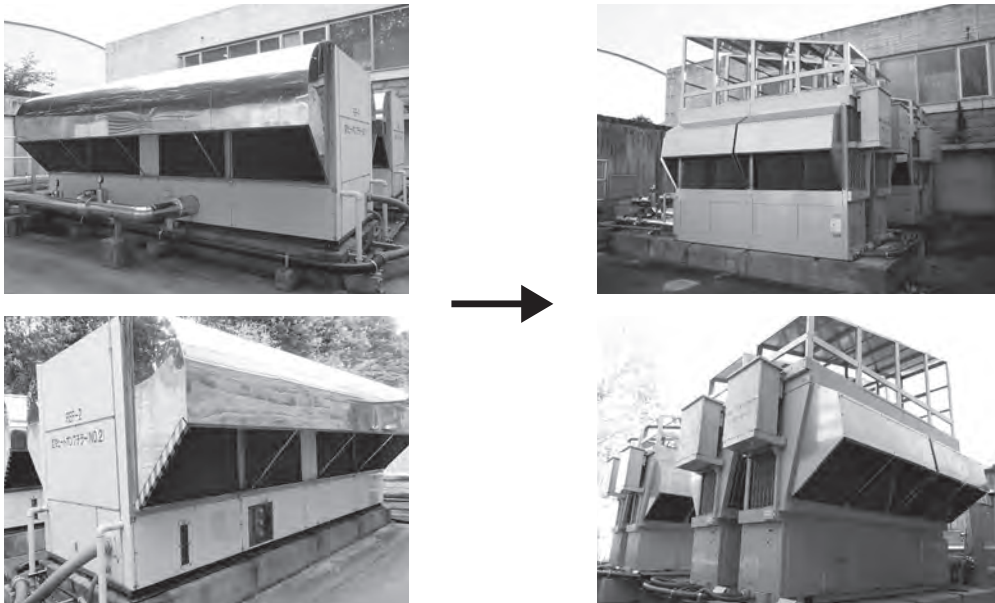
3) 冷温水ポンプの修繕

各室に調節された空気を送るエアハン（空気調和設備）に冷温水を継続して供給するため、11台のうち6台を交換した。



4) 空冷チラー（冷凍機）の交換

館内の空調用温水・冷水を継続して作る（深夜電力を利用）ため2台を4台とし、より細やかな対応ができるよう、1台が故障しても空調に影響が出ないようにした。



5) 蓄熱槽の清掃・修繕等

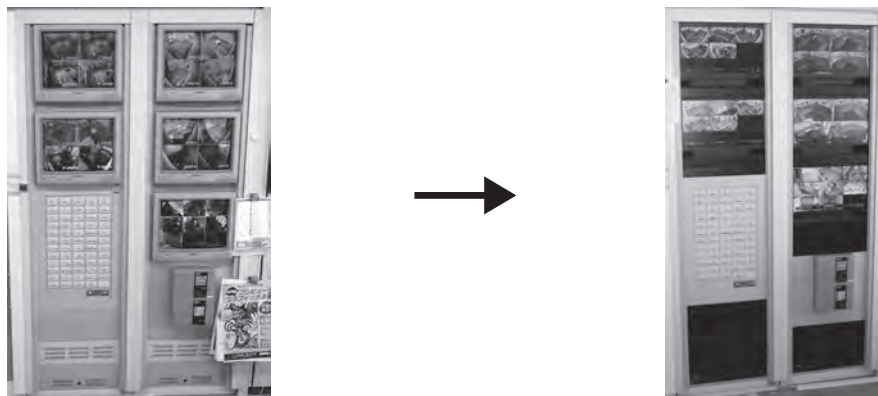
温水・冷水の貯水槽の点検、清掃をし、防錆剤を添加した。

以上の更新及び修繕によって熱源設備が次のとおり変更となった。

- ・空冷ヒートポンプチラー（圧縮機 90KW）2台→空冷ヒートポンプチラー（圧縮機 50KW）4台
暖房能力：256KW、冷房能力：329KW →暖房能力：131KW、冷房能力：181KW
- ・水冷チラー（圧縮機 45KW）→水冷チラー（圧縮機 40KW）
暖房能力：215KW、冷房能力：164KW →暖房能力：198KW、冷房能力：157KW
- ・総暖房能力 $256 \times 2 = 512\text{KW} \rightarrow 131 \times 4 = 524\text{KW}$
- ・総冷房能力 $330 \times 2 = 660\text{KW} \rightarrow 181 \times 4 = 724\text{KW}$

2 館内監視システム

- ・監視カメラのシステム機器を交換し、事務室の館内監視システムを刷新した。



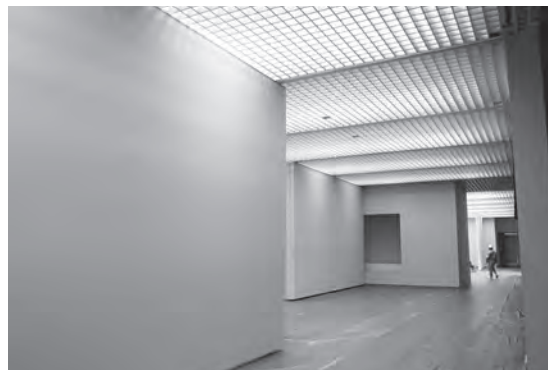
- ・守衛室の館内監視システム（左）及び照明システム（右）を交換した。



3 企画展示室天井

既存のルーバーを撤去し、ライティング・ダクトを設置した。

・壁床養生（平成 29 年 11 月 17 日撮影）



・足場設置（11 月 21 日撮影）



・ルーバー撤去（11 月 22 日、28 日撮影）



・ルーバー撤去完了（11 月 30 日撮影）



・ライティングダクト設置実験 (12月25日撮影)



・天井色テスト (平成30年1月10日撮影)



・ライティングダクト設置 (1月16日、22日撮影)



・ライティングダクト設置完成・壁床養生撤去 (3月8日撮影)



・天井塗装（4月3日撮影）



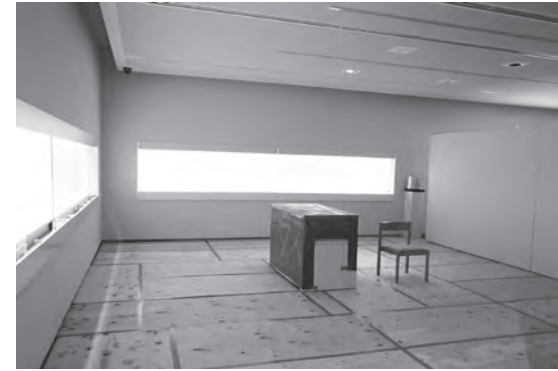
・終了（5月11日撮影）



4 常設展示室天井

吊天井を補強し、隙間及び亀裂を補修した。

・床養生（平成30年1月16日撮影）



5 企画・常設展示室照明のLED化

これまで両展示室の照明には、ミニハロゲン電球（85W、1600lm、2850K）によるスポットライト及び、両口金形ハロゲン電球（200W、3600lm、2900K）によるウォールウォッシャー等を使用していたが、平成30年7月からの10年間リース契約で、全てLED照明に交換した。

※リース期間終了後、リース機器は無償譲渡。

照明機器設置作業期間：平成29年10月～平成30年5月

1) LED スポットライトの導入

・第1回 LED 照明テスト

常設展示室において色温度の選択と落下防止装置等の検討をした（平成29年11月10日撮影）。



・第2回 LED 照明テスト

常設展示室においてカッタースポットライト及びズーム式スポットライトの実験をした（11月29日撮影）。



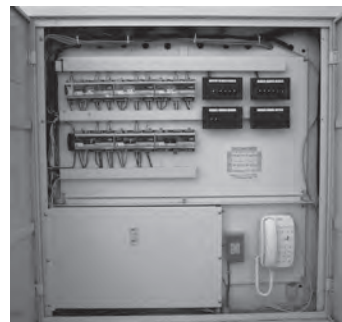
・第3回 LED 照明テスト

企画展示室において各スポットライトの数等の検討をした（平成30年2月23日撮影）。



2) 企画展示室間接照明の結線替え

LED直管ランプを使用するため、天井（左、中）及びケース内の照明をこれまでの両側給電から片側給電に変更した。また、照明操作盤も変更した（右）（平成30年2月13日撮影）。



3) 常設展示室間接照明の結線替え

LED 直管ランプを使用するため、天井間接照明（左、中）、ケース内及び常設展示室 4 設置可動式展示ケースの照明をこれまでの両側給電から片側給電に変更した。また、照明操作盤も変更した（右）（平成 30 年 4 月 13 日撮影）。



4) 可動式行灯型展示ケースの結線替え

LED 直管ランプを使用するため、ライトボックスも含めて（各 6 台）これまでの両側給電から片側給電に変更した。

5) LED スポットライトの種類

種別	固定焦点スポットライト
型 式	VNSP002A
数 量	135 台
LED	紫色励起
ランプ光束	584lm
定格消費電力	17.0W
色温度	3,500K
Ra 値	98
基本配光	14°

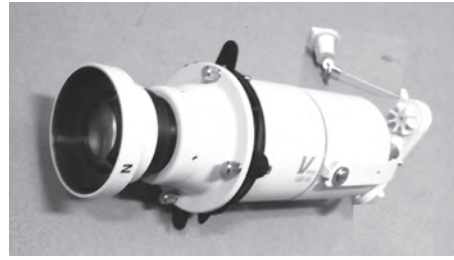


種別	調光調色スポットライト
型 式	BSSP002B2745WP
数 量	10 台
LED	青色励起
ランプ光束	1,148lm ~ 1,450lm
定格消費電力	15.5W
色温度	2,700K ~ 4,200K の範囲で色温度可変
Ra 値	95
基本配光	17°



レンズフィルター (固定焦点、調光 調色共用)	配光 18 度：100 枚
	配光 25 度：30 枚
	配光 40 度：20 枚
	スプレッド：20 枚

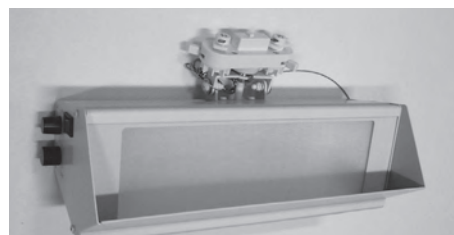
種別	カッタースポットライト
型式	VNCS001C
数量	10 台
LED	紫色励起
ランプ光束	409lm
定格消費電力	17.0W
色温度	3,500K
Ra 値	95
基本配光	27°
その他	カッターレンズユニット付属



種別	φ 55 スポットライト (Nズーム)
型式	VNZS003B
数量	25 台
LED	紫色励起
ランプ光束	80lm
定格消費電力	12.0W
色温度	3,500K
Ra 値	95
基本配光	14° ~ 42° 連続可変
その他	ズーム機構付属



種別	調光調色ウォールスポットライト
型式	BSSP004A2745WP
数量	20 台
LED	青色励起
ランプ光束	1,250lm
定格消費電力	31W
色温度	2,700K ~ 4,200K の範囲で色温度可変
Ra 値	95
その他	—



6 その他

1) 企画展示室壁面修繕

ビス穴、汚れが目立つため壁面を再塗装した。

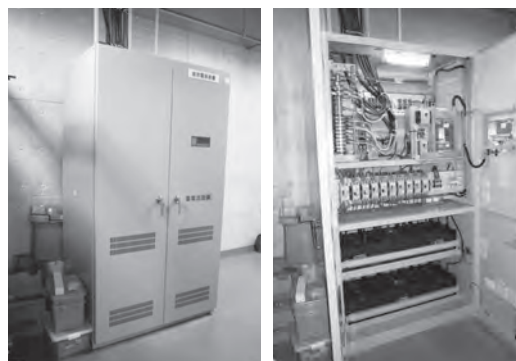
2) 電話設備交換

システムと電話機を交換し、そのうち学芸員室及びスタジオ等の電話機の一部をコードレス化した。



3) 非常照明用蓄電池設備交換

高圧受電盤の操作回路用電源と一緒にシステムを交換した。



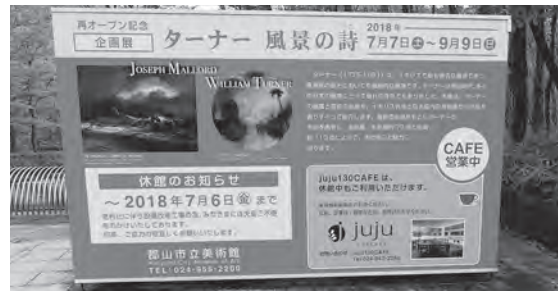
4) ポスター掲示板修繕

汚れが目立つため再塗装し、板面をマグネット仕様にした。



5) 駐車場看板による休館告知と修繕

平成 29 年 10 月 1 日 (日) から平成 30 年 4 月 2 日 (月) まで休館中の看板 (左) を、平成 30 年 4 月 2 日 (月) から 7 月 6 日 (金) まで開館予告の看板 (右) を設置した。また、錆や汚れが目立つため修繕し、土台が安定するようデザインを変更した。



6) 可動式覗き型展示ケース修繕

鍵が壊れて使用不可能になっていたケースの鍵を修理した。

7) ミュージアム・ショップへの LED 照明導入

郡山市立美術館友の会の協力により、LED 照明を設置した。



8) ポスター掲示板設置

美術館入口をわかりやすくするため、キャノピーからメイン・エントランスへ入る手前に、開催中の展覧会ポスターを掲示する掲示板を設置した。



9) 来客用トイレの洋式便座を一部温水洗浄便座へ交換

エントランスホール来客用トイレの洋式便座及びその他一部の便座を温水洗浄便座に交換した。

II 保存管理事業

1 空気環境測定

改修工事にとまなう収蔵庫と展示室の空気環境の測定を行った。

1) 工事前空気環境測定

日 時：平成 29 年 11 月 6 日～11 月 10 日

測定場所：収蔵庫、企画展示室及び各展示ケース、常設展示室及び一部の展示ケース内 全 17 ヶ所

測定方法：学芸員がパッシブインジケータを使用して測定。

結 果：すべての測定場所で、基準値を超える有機酸、アンモニアともに不検出。

2) 平成 30 年 3 月定期測定

日 時：平成 30 年 3 月 3 日～3 月 5 日

測定場所：企画展示室、常設展示室の各室中央部 全 6 ヶ所

測定方法：設備運転委託業者による定期測定として環境モニターを使用して実施。

結 果：常設展示室全 4 室で強い酸性反応が出た。企画展示室は清浄環境だった。

原 因：養生用の合板が酸性物質の発生源と思われる。常設展示室は合板撤去直後だった。

対 策：2 ヶ月後の設備運転委託業者による定期測定結果を見ることにした。

3) 平成 30 年 5 月定期測定

日 時：平成 30 年 5 月 19 日～5 月 21 日

測定場所：企画展示室、常設展示室の各室中央部 全 6 ヶ所

測定方法：設備運転委託業者による定期測定として環境モニターを使用して実施。

結 果：すべての測定場所で清浄環境を示した。

4) 展示室改修工事全行程終了後の空気環境測定

日 時：平成 30 年 6 月 8 日～6 月 12 日

測定場所：収蔵庫、企画展示室、常設展示室及び各展示ケース内 全 20 ヶ所

測定方法：学芸員がパッシブインジケータを使用して測定。

結 果：すべての企画展示室内測定場所で基準値を超えるアンモニアが検出された。有機酸は不検出。

収蔵庫、常設展示室は基準値を超える有機酸、アンモニアともに不検出。

原 因：直前まで行われていた企画展示室の展示壁塗装に使用された塗料がアンモニアの発生源と思われる。

対 策：この直後に行われる展示室燻蒸（6 月 14 日～6 月 19 日）による強制排気の効果を見る。その後、残りの休館期間にも空調運転を行い、その補助として全 10 台の扇風機を使用。

5) 燻蒸終了後の第 1 回空気環境測定

日 時：平成 30 年 6 月 19 日～6 月 20 日

測定場所：企画展示室及び各展示ケース内 全 8 ヶ所

測定方法：学芸員が環境モニターを使用して測定。

結 果：すべての測定場所で、カラスケールの 2（清浄環境）と 3（アルカリ性的環境）の間を示していた。

原 因：まだ、アンモニアが残留していると思われる。

対 策：扇風機併用の空調運転を続行。



展示室中央で三脚にパッシブインジケータを吊るして測定

6) 燻蒸終了後の第 2 回空気環境測定

日 時：平成 30 年 6 月 24 日～6 月 25 日

測定場所：企画展示室及び各展示ケース内 全 8 ヶ所

測定方法：学芸員が環境モニターを使用して測定。

結 果：すべての測定場所で、清浄環境を示していた。清浄環境回復に成功したと思われる。このあと、企画展示室の可動壁を 7 月 7 日からの「ターナー展」仕様に組んだ後に最終測定を実施。

7) 最終空気環境測定

日 時：平成 30 年 7 月 1 日～7 月 2 日

測定場所：企画展示室内 全 6 ヶ所

測定方法：学芸員が環境モニターを使用して測定。

結 果：すべての測定場所で、清浄環境を示していた。その後の設備運転委託業者による定期測定でも清浄環境が維持されている結果が出ている。

2 工事期間中の収蔵作品の保管について

収蔵庫は空調設備の配管のつなぎ換えをすることで、工事期間中も調和された空気を継続して収蔵庫へ送ることができた。そのため、収蔵作品を他所に預けることなく工事を進めることができた。なお、つなぎ換えの作業時間は約 4 時間で、その間温度が 2℃下がり、湿度が 2%上昇しただけで、その後は正常に温湿度管理されている。

Ⅲ 休館中の事業 ※肩書が表記されていない講師はすべて当館職員（31頁参照）。

1 アート・カフェ 場所：juju130CAFE

休館中の普及事業として「アート・カフェ」と題した講座を、敷地内のカフェで開催した。学芸員と参加者が懇談しながら美術に親しむ機会とした。

1) Deepな作品鑑賞会 時間：午後3時30分～午後5時

①鑑賞ツール編

鑑賞用補助教材「アート・キューブ」を用いながら画材の話題を中心に、作品鑑賞の楽しみ方などについてトークを行った。

講師：永山多貴子
開催日：平成29年10月7日（土）
参加者数：3名



②彫刻編

彫刻について、収蔵品や市内設置作品、出身作家、これまで開催した企画展などを紹介。技法や素材についても解説した。

講師：中山恵理
開催日：平成29年10月14日（土）
参加者数：9名



③絵画編

「展示、特にワイヤー吊りについて」「よみがえった絵画」「下に別の絵が描かれた絵画」「ウラにも描かれた絵画」について解説した。

講師：鈴木誠一
開催日：平成29年10月21日（土）
参加者数：14名



④工芸編

「一の膳 日本を旅した英国人クリストファー・ドレッサー」「二の膳 日本人が大好きなルーシー・リーの器を使う」「三の膳 日本人が見つけたイギリスの美 スリップウェアとウィンザー・チェア」のテーマでイギリス工芸について解説した。

講師：佐藤秀彦
開催日：平成29年10月28日（土）
参加者数：12名



⑤ 版画編

版画の種類や基礎知識について、様々な道具や制作過程を紹介しながら解説した。

講師：杉原聡

開催日：平成 29 年 12 月 2 日（土）

参加者数：10 名

⑥ 挿絵本編

挿絵本や絵本、版画などを紹介しながら挿絵の魅力について話した。

講師：永山多貴子

開催日：平成 29 年 12 月 9 日（土）

参加者数：11 名

2) 味なる作品鑑賞会 時間：午前 11 時～正午

① 食卓編

「一の膳 カトラリーの日英交流」「二の膳 描かれた食器 財産だった洋食器」「三の膳 日本人が見つけたイギリスの美 ウィンザー・チェア」「デザート リネンと木綿」のテーマで食卓にまつわる工芸品について解説した。

講師：佐藤秀彦

開催日：平成 30 年 1 月 20 日（土）

参加者数：10 名



② 美食家編

食や食文化をテーマに美術作品や建築、芸術家たちのエピソードを紹介した。

講師：永山多貴子

開催日：平成 30 年 1 月 27 日（土）

参加者数：5 名



3) わたしのおすすめ！ とっておきの話 時間：午前 11 時～正午

① 日本画家・荻生天泉 × 書家・尾上柴舟 × 平安歌人

荻生天泉《行成卿》にまつわる「屏風について」「絵の元となった逸話」「尾上柴舟筆の色紙形について」を解説した。

講師：鈴木誠一

開催日：平成 30 年 2 月 3 日（土）

参加者数：10 名



②あっと驚く新聞付録

主に明治時代の新聞付録について、その印刷技術の変遷を交えて図柄（A3 カラーコピー）を示しながら話した。

講師：菅野洋人
開催日：平成30年2月10日（土）
参加者数：2名



③描かれた風景を探して ー現地調査エピソードー

主に《石版『懐古東海道五十三驛真景』油彩原画』について、現地調査して見た実景と作品を比較して、改めて気づいた点や作品の魅力などを解説。また、大下藤次郎展に際して制作したリーフレットで、裏磐梯、猪苗代での足跡をたどった調査についても紹介した。

講師：中山恵理
開催日：平成30年2月17日（土）
参加者数：10名



④「ピカソみたいな絵」ってホメ言葉？ いい作品とはなにか
「いい絵」「上手な絵」の違いや「好きな絵」について、対話形式で話し合った。

講師：富岡進一
開催日：平成30年2月24日（土）
参加者数：8名



⑤画材いろいろ 絵具、筆、キャンバス……

油彩画に使用される画材について、実物や画像を示しながら紹介した。

講師：新田量子
開催日：平成30年3月10日（土）
参加者数：13名



⑥怖い？楽しい？お酒とアート

人と酒の歴史を解説しながら、古代から現代までの酒が描かれた作品、特に「怖い絵展」に出品されたウィリアム・ホガースの《ビール街とジン小路》を中心に紹介した。

講師：田中有沙子
開催日：平成30年3月17日（土）
参加者数：11名



⑦鑑賞力アップ実践トレーニング ―鑑賞ゲーム―

ゲーム形式で鑑賞を深める講座を行った。参加者からの発言、発表を基にしながら、作品の細部を見ること、見た情報を言葉に置き換えるなどの鑑賞ポイントを解説した。

講師：富岡進一

開催日：平成30年3月24日（土）

参加者数：12名



⑧美術館の舞台裏!?

作品の収集や保存、展覧会企画・展示方法等について、美術館や学芸員の仕事の裏話を紹介した。

講師：杉原 聡

開催日：平成30年4月7日（土）

参加者数：12名



⑨偉人・傑人・珍品・奇品!!

過去25年約150本の企画展から、関わった異能・異色の人物（肖像画含む）や、デュシャンの《泉》など、これが美術?という作品などをセレクトして紹介した。

講師：鈴木誠一

開催日：平成30年4月14日（土）

参加者数：13名



⑩花をめぐるアート

花を中心に、植物を主題にした絵画や工芸品などについてトークを行った。バーン＝ジョーンズの《フローラ》をはじめ、当館コレクションや、これまで開催された花に関連した展覧会を話題にした。

講師：永山多貴子

開催日：平成30年4月28日（土）

参加者数：9名



4)スペシャル・アート・カフェ「レコード寄席 一味な風景」

喫茶をテーマにしたレコードをかけ、解説した。

講師：田口史人（レコード店「円盤」店主）

日時：平成30年3月3日（土）

午後1時30分～午後3時

参加者数：20名



2 美術館館外プロジェクト

1) 考古×美術 大安場史跡公園とのコラボレーション

東北最大の前方後方墳・大安場古墳を中心とした史跡公園のガイダンス施設（右）で、同公園主催の行事にブース参加した。



①ワークショップ「古墳時代のアートに挑戦」

大安場史跡公園主催の「古墳まつり 秋」にブース参加し、ワークショップ2種を開催した。ベンガラと京土から作ったクレヨンで描画する内容と、「紋切り」技法によって装飾模様を作る内容とした。

講師：クレヨン 杉原 聡、田中有沙子
紋切り 中山恵理、永山多貴子

日時：平成 29 年 10 月 8 日（日）、9 日（月・祝）
午前 9 時～午後 4 時

場所：大安場史跡公園
参加者数：200 名



②ワークショップ「みつろうクレヨンであそぼう！」&「紙切りアートにチャレンジ！」

大安場史跡公園で開催された「こどもオリンピック」（5月3日～5日）にブース参加し、ワークショップ2種を行った。みつろうと食品色素、植物色素等を混合させて無害安全なクレヨンづくりを行う内容及び江戸時代発祥の紋切り遊びをアレンジした紙切りの内容であった。

講師：クレヨン 杉原 聡、田中有沙子
紋切り 中山恵理、永山多貴子

日時：平成 30 年 5 月 3 日（木・祝）、4 日（金・祝）
午前 9 時～午後 4 時

場所：大安場史跡公園
参加者数：420 名（3 日：200 名、4 日：220 名）



2) 文学×美術Ⅰ こおりやま文学の森資料館とのコラボレーション

こおりやま文学の森資料館の敷地内に鎌倉から移設された、久米正雄記念館（旧久米正雄邸・右）で、展示されている絵画作品や装幀本などについてギャラリートークを行った。



①久米正雄記念館の美術作品

久米正雄記念館応接間に展示されている5点と、久米正雄と関根正二との関係についても言及した。

講師：菅野洋人
日時：平成29年10月15日（日）
午後1時30分～午後3時
場所：久米正雄記念館
参加者数：10名



②ふくしまに残る竹久夢二の足跡

竹久夢二と福島県の関わり、夢二と久米の交友について、久米夫妻のために夢二が描いた枕屏風（竹久夢二美術館所蔵）や、久米が挿絵に描かれた夢二の自伝的小説『出帆』特装版を紹介した。

講師：鈴木誠一
日時：平成29年11月12日（日）
午後1時30分～午後3時
場所：久米正雄記念館
参加者数：10名

③モダンボーイ・久米正雄

展示されている写真及び資料を基に、久米正雄が活躍した昭和初期頃の文化や流行等について解説した。

講師：永山多貴子
日時：平成30年1月21日（日）
午後1時30分～午後3時
場所：久米正雄記念館
参加者数：12名



3) 文学×美術Ⅱ こおりやま文学の森資料館とのコラボレーション

美術講座「描かれた万葉の世界」

「安積山と安積の沼とうねめ」「歌人像」「歴史ドラマ」「花など」「梶田半古作品について」をテーマに、万葉集を題材とした絵画（主に近代日本画）を紹介した。

講師：鈴木誠一
日時：平成29年12月10日（日）
午後1時30分～午後3時30分
場所：ミューカルがくと館小ホール
参加者数：32名



4) 郡山市立美術館所蔵品展

休館の機会に、美術館から遠く来館することが難しい地区の市民に向けて、コレクションに親しんでもらうための所蔵作品による出張展覧会を行った。

①日英風景の競演 一湖南の自然とともに一

湖南地区で所蔵作品展を開催した。開催中にギャラリートークを3回行った。

日 時：平成 29 年 11 月 19 日（日）午前 9 時～午後 5 時

場 所：郡山市立湖南公民館 2 階集会室

参加者数：100 名

ギャラリートーク

時間・講師・参加者数：午前 10 時～・田中有沙子・20 名

午後 1 時～・菅野洋人・14 名

午後 3 時～・鈴木誠一・11 名

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
磐梯山と猪苗代湖						
1	山本 芳翠	磐梯山噴火真図	1888(明治21)年	木口木版・紙	222×325	
2	山本森之助	冬の磐梯山	1918(大正7)年	油彩・キャンバス	75.5×106.7	
3	吉井 忠	山湖	1931(昭和6)年	油彩・キャンバス	31.6×40.7	
4	斎藤 清	青沼、裏磐梯、会津	1955(昭和30)年	木版・紙	38.9×51.0	
5	福田 利秋	磐梯山	1980(昭和55)年	木版・紙	31.0×40.0	福田利秋氏寄贈
湖南の作家						
6	土橋 醇	小さな村	1955(昭和30)年	油彩・キャンバス	50.0×73.0	
7	土橋 醇	村のコンポジション	1957(昭和32)年	油彩・キャンバス	73.0×92.0	
8	土橋 醇	作品	1960(昭和35)年	パステル、グワッシュ・紙	55.2×36.5	佐藤克也氏寄贈
9	土橋 醇	無題		リトグラフ、手彩色・紙	32.5×42.3	大川原有重氏寄贈
10	土橋 醇	無題（多色）	1960(昭和35)年	リトグラフ・紙	37.8×56.0	
11	土橋 醇	無題	1960(昭和35)年	リトグラフ・紙	54.5×40.5	(株)兜屋画廊寄贈
12	土橋 醇	無題（墨）		リトグラフ・紙	55.7×42.6	土橋千鶴子氏寄贈
13	三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)年	ブロンズ	53.5×16.1×12.3	
14	三坂耿一郎	女童（めわらべ）	1974(昭和49)年	ブロンズ	130.0×52.0×44.0	
明治・大正の美術						
15	石川欽一郎	信州の田舎		水彩・紙	32.0×39.5	
16	三宅 克己	箱根		水彩・紙	17.2×36.0	
17	大下藤次郎	晩秋	1908(明治41)年	水彩・紙	23.8×35.2	
18	中川 八郎	秋の河辺		水彩・紙	34.1×50.2	
19	吉田 博	村里の子供たち（岩戸）		水彩・紙	31.6×49.3	
20	河合 新蔵	ノウゼンカズラのある宿場		水彩・紙	32.2×56.0	
21	間部 時雄	洛北の秋	1907(明治40)年	油彩・板	22.5×31.6	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
22	正宗得三郎	東京の郊外		油彩・キャンバス	45.0×52.6	
23	南 薫造	浪		油彩・キャンバス	45.0×60.0	南建氏寄贈
イギリス美術						
24	ポール・サンドビー	ウォーリック城シーザー塔	1778-82年	水彩、インク・紙	22.5×43.7	
25	トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798年頃	水彩・紙	38.3×54.0	
26	ピーター・デ・ヴァント	ウィットビー		水彩・紙	22.5×43.7	
27	ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826年	水彩・紙	36.2×53.6	
28	デイヴィッド・コックス	川辺の騎士と人物	1850年	水彩、鉛筆、チョーク・紙	40.2×28.5	
29	トマス・アレン・リット・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855年	水彩・紙	22.4×31.3	
30	サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	1889年頃	水彩・紙	53.3×36.5	
31	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	赤羽、芝公園の一隅	1891年	油彩・板	27.8×34.2	
32	アルフレッド・ウイリアム・ボゾフ	箱根の秋	1892年頃	水彩・紙	27.5×48.0	
33	ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より4点	1830-32年	メゾチント・紙/ポートフォリオ		
34	キートン・コーポル・ジョーンズ	『フラワー・ブック』より4点	1905年	リトグラフ・紙/ポートフォリオ		

休館中の事業



郡山市立湖南公民館



ギャラリートーク
(講師：田中有沙子)



ギャラリートーク
(講師：菅野洋人)



ギャラリートーク
(講師：鈴木誠一)

②逢瀬で魅せます 日本とイギリス

逢瀬地区で所蔵作品展を開催し、この地域と関係の深い日本画家渡辺晨畝の資料展示も併せて行った。開催中にギャラリートークを各日2回行った。

日 時：平成30年4月21日（土）、22日（日）午前9時～午後5時

場 所：郡山市立逢瀬公民館1階大集会室

参加者数：313名

ギャラリートーク

時間・講師・参加者数：4月21日 午前11時～・鈴木誠一・11名

午後2時～・鈴木誠一・12名

4月22日 午前11時～・杉原 聡・16名

午後2時～・田中有沙子・12名

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
イギリス美術						
1	アレクサンダー・カズン	川岸に神殿のある風景		水彩・紙	47.6×63.8	
2	ジョン・ロバート・カズン	サヴォワ地方、サランシュ附近のアルプス渓谷		水彩・紙	23.7×36.7	
3	ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ビュセル広場のブルトルド館	1823年	水彩・紙	40.2×28.5	
4	チャールズ・ワグマン	ふたりの日本女性		水彩・紙	25.0×18.4	
5	サー・アルフレッド・イースト	村の茶店、箱根	1889年頃	水彩・紙	26.0×37.1	
6	アルフレッド・ウイリアム・ボーンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙	25.4×35.5	
7	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	1890年	水彩・紙	27.0×36.7	
8	ウィリアム・ホガース	誤った遠近法	エッチング・紙	エッチング・紙	22.9×18.2	
9	ジェームズ・マクニール・ヘンリー	ラルエット坊や	1859年	エッチング・紙	22.6×15.2	
10	ポール・サンドビー	『ウェールズ12景』第1部より4点	1775年刊	アクリット、エッチング・紙/ポトフォルイ		
11	チェイブ・コリー・ル・ジョズ	J.O.ハリウエル編『ウェールズのパシヴァル編』	1895年刊	木口木版・紙/本	20.7×28.0	
12	リチャード・ハミルトン	フラワー・ピース B	1976年	リトグラフ・紙	65.0×50.0	
13	ヘンリー・ムーア	『スカルプチャー・アイデア』より4点	1980年刊	エッチング、アクリット・紙/ポトフォルイ		
14	ヘンリー・ムーア	座る人体：スカート	1980年	ブロンズ	140×160×80	
日本近代美術						
15	大下藤次郎	蓮池		水彩・紙	32.6×48.6	
16	三宅 克己	ブルージュ	1910(明治43)年	水彩・紙	34.8×26.0	
17	丸山 晚霞	少女のいる風景、春		水彩・紙	32.9×49.7	
18	吉田 博	つつじの咲く高原		水彩・紙	33.0×50.0	
19	真野紀太郎	ウェリントン植物園	1924(大正13)年	水彩・紙	21.5×32.8	
20	安井曾太郎	公園風景	1928(昭和3)年	水彩・紙	27.6×16.5	
21	武内鶴之助	庭		パステル・紙	24.0×30.0	
22	矢崎千代二	リオデジャネイロ風景		パステル・紙	45.5×33.6	
23	棟方 志功	愛染菩薩図(『雨ニモ負ケズ』四韻)		墨、淡彩・紙/4点組	各87.0×30.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
郡山ゆかりの美術						
24	安藤 重春	バス		岩絵具・紙	73.0×61.0	安藤ヒサヨ氏寄贈
25	安藤 重春	犬声		岩絵具・紙	73.0×60.5	安藤ヒサヨ氏寄贈
26	鎌田 正蔵	象男	1981(昭和56)年	アクリル・紙	55.0×37.2	鎌田正蔵氏寄贈
27	鎌田 正蔵	ロボット家族	1982(昭和57)年	アクリル・紙	52.6×38.0	鎌田正蔵氏寄贈
28	佐藤 昭一	シリーズ人間 —Sさんのトマト—	1979(昭和54)年頃	油彩、アクリル・キャンバス	130.8×97.2	佐藤昭一氏寄贈
29	佐藤 昭一	シリーズ透過 —再生—	1995(平成7)年	アクリル、コンテ、和紙・板	72.7×103.1	佐藤昭一氏寄贈
30	佐藤 静司	春の音	1979(昭和54)年	木	101.0×28.0×23.0	佐藤静司氏寄贈
31	佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)年	ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	13.0×10.0	佐藤久枝氏寄贈
32	佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	13.0×9.8	佐藤久枝氏寄贈
33	佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)年頃	ガラス/宙吹・プランツ	17.8×12.5×19.0	
渡辺晨畝関連資料						



郡山市立逢瀬公民館



ギャラリートーク
(講師：鈴木誠一)



ギャラリートーク
(講師：杉原 聡)



ギャラリートーク
(講師：田中有沙子)

5) 科学×美術 ふれあい科学館とのコラボレーション
ワークショップ「アニメのしゅきを体験しよう」&「か
たん、びっくり！ 写真をオリジナルの絵にしよう」

郡山市ふれあい科学館との共同ワークショップで、郡山市ふれあい科学館によるアニメーションのしゅきについての講義と、当館学芸員によるゾートロープ及び写真転写を応用した絵画制作を行った。

講 師：菅野洋人、富岡進一、新田量子
百川純也（郡山市ふれあい科学館企画運営課
主事）、橋本恵子（郡山市ふれあい科学館展
示クルー）

日 時：平成30年3月4日（日）午後2時～午後4時
場 所：郡山市ふれあい科学館多目的研修室
参加者数：20名



6) 音楽×美術 ミューカルがくと館とのコラボレーション
映画上映会「母たち」

湯浅譲二が音楽を担当した映画「母たち」について、湯浅譲二についての講義と同作品上映会を行った。

講 師：永山多貴子
日 時：平成30年3月24日（土）午後2時～午後3時30分
場 所：ミューカルがくと館大ホール
参加者数：45名

7) 社会×美術 男女共同参画課・さんかくプラザとのコ
ラボレーション
ワークショップ「マスキングテープ・アートを楽しむ」

自由に貼ってはがせる特徴を活かしながら、様々な色彩のマスキングテープを台紙に貼り込み、オリジナルの平面作品を制作した。

講 師：永山多貴子、新田量子
日 時：平成30年5月19日（土）
午後1時30分～午後3時
場 所：さんかくプラザ
参加者数：16名



8) 美術×美術 諸橋近代美術館とのコラボレーション
ワークショップ「だまし絵を見る・描く・つくる」

諸橋近代美術館（右）で開催中の企画展「夢幻×無限～エッシャー、ダリ、福田繁雄～」に関連し、だまし絵への理解を深めながら、錯視のしゅきを利用した平面作品と立体作品を制作した。

講 師：富岡進一、新田量子
日 時：平成30年5月27日（日）
午後1時～午後3時
場 所：諸橋近代美術館
参加者数：15名



3 アート・バザール in 郡山市立美術館

郡山市立美術館友の会と共催で、アートに関する品物のバザールを行った。

日 時：平成 29 年 11 月 26 日（日）正午～午後 4 時
場 所：当館エントランス、スタジオ前ロビー、多目的スタジオ、講義室
参加者数：300 名



多目的スタジオ



エントランス・ホール



スタジオ前ロビー手前



スタジオ前ロビー奥

4 講師派遣事業

1) ワークショップ「季節を染める どんぐりからはじまる染色」

主催：勤労青少年ホーム

桐（くぬぎ）を材料に染色のワークショップを開催した。レクチャーの後、染液を作りウール素材のストールを各自染めた。

講 師：佐治ゆかり
日 時：平成 29 年 12 月 2 日（土）午前 10 時～午後 3 時
場 所：郡山市立中央公民館
参加者数：6 名

2) ワークショップ「青少年会館ウィンタースクール 凧作りと紋切り」

主催：郡山市青少年会館

レジ袋を材料とした凧作り、「紋切り」技法によって冬らしい装飾模様を作るワークショップを開催した。昼食をはさんで、午後には自分で作った凧をあげる体験も行った。

講師：凧作り 新田量子、杉原 聡
紋切り 永山多貴子

日時：平成 30年 1月 6日(土) 午前 10時～午後 1時

場所：郡山市青少年会館

参加者数：16 名



3) 第 16 回郡山市男女共同参画フェスティバル参加
ワークショップ「手づくりクレヨンで描こう・江戸時代の紋切り遊びを楽しむ」

主催：男女共同参画課・さんかくプラザ

みつろうと食品色素、植物色素等を混合させて無害安全なクレヨンづくりを行う内容及び江戸時代発祥の紋切り遊びをアレンジした紙切りの内容であった。

講師：クレヨン 杉原 聡、田中有沙子
紋切り 中山恵理、永山多貴子

日時：平成 30年 2月 24日(土) 午前 10時～午後 5時、
25日(日) 午前 10時～午後 4時

場所：郡山市民文化センター展示室

参加者数：105 名



4) ワークショップ「イースターエッグアート」

主催：郡山市青少年会館

春の風物詩をテーマに、卵の殻に絵付けや装飾をあしらったイースターエッグ作りを行った。

講師：永山多貴子、新田量子

日時：平成 30年 3月 25日(日)
午前 10時～午前 11時 30分

場所：郡山市青少年会館

参加者数：7 名



IV 利用者数

総事業数 36 件

総参加者数 1,821 名

事業名	参加者数	備考
アート・カフェ 1) -①鑑賞ツール編	3	アートカフェ
アート・カフェ 1) -②彫刻編	9	アートカフェ
アート・カフェ 1) -③絵画編	14	アートカフェ
アート・カフェ 1) -④工芸編	12	アートカフェ
アート・カフェ 1) -⑤版画編	10	アートカフェ
アート・カフェ 1) -⑥挿絵本編	11	アートカフェ
アート・カフェ 2) -①食卓編	10	アートカフェ
アート・カフェ 2) -②美食家編	5	アートカフェ
アート・カフェ 3) -①日本画家・荻生天泉×書家・尾上柴舟×平安歌人	10	アートカフェ
アート・カフェ 3) -②あっと驚く新聞付録	2	アートカフェ
アート・カフェ 3) -③描かれた風景を探して 現地調査エピソード	10	アートカフェ
アート・カフェ 3) -④「ピカソみたいな絵」ってホメ言葉? いい作品とはなにか	8	アートカフェ
アート・カフェ 3) -⑤画材いろいろ 絵具、筆、キャンバス……	13	アートカフェ
アート・カフェ 3) -⑥怖い?楽しい?お酒とアート	11	アートカフェ
アート・カフェ 3) -⑦鑑賞力アップ実践トレーニング 鑑賞ゲーム	12	アートカフェ
アート・カフェ 3) -⑧美術館の舞台裏!?	12	アートカフェ
アート・カフェ 3) -⑨偉人・傑人・珍品・奇品!!	13	アートカフェ
アート・カフェ 3) -⑩花をめぐるアート	9	アートカフェ
スペシャル・アート・カフェ「レコード寄席 味な風景」	20	アートカフェ
ワークショップ「古墳時代のアートに挑戦」	200	美術館館外プロジェクト
ワークショップ「みつろうクレヨンであそぼう!」&「紙切りアートにチャレンジ!」	420	美術館館外プロジェクト
久米邸アート・トーク 久米正雄記念館の美術作品	10	美術館館外プロジェクト
久米邸アート・トーク ふくしまに残る竹久夢二の足跡	10	美術館館外プロジェクト
久米邸アート・トーク モダンボーイ・久米正雄	12	美術館館外プロジェクト
美術講座「描かれた万葉の世界」	32	美術館館外プロジェクト
郡山市立美術館所蔵品展 日英風景の競演 湖南の自然とともに	100	美術館館外プロジェクト
郡山市立美術館所蔵品展 逢瀬で魅せます 日本とイギリス	313	美術館館外プロジェクト
ワークショップ「アニメのしくみを体験しよう」&「かんたん、びっくり! 写真をオリジナルの絵にしよう」	20	美術館館外プロジェクト(郡山市ふれあい科学館と共催)
映画上映会「母たち」	45	美術館館外プロジェクト
ワークショップ「マスキングテープ・アートを楽しむ」	16	美術館館外プロジェクト(男女共同参画課と共催)
ワークショップ「だまし絵を見る・描く・つくる」	15	美術館館外プロジェクト(諸橋近代美術館と共催)
アート・バザール in 郡山市立美術館	300	美術館館外プロジェクト(友の会と共催)
ワークショップ「季節を染める どんぐりからはじまる染色」	6	講師派遣事業
ワークショップ「青少年会館ウインタースクール 凧作りと紋切り」	16	講師派遣事業
ワークショップ「手づくりクレヨンで描こう・江戸時代の紋切り遊びを楽しむ」	105	講師派遣事業
ワークショップ「イースターエッグアート」	7	講師派遣事業
合計	1,821	

V 刊行物

休館中の行事を告知するため3ヶ月ごとの行事をまとめたチラシ、及び2018（平成30）年4月には再オープンを告知するチラシを制作し、市内各施設に配布した（いずれもA4判両面4色）。
また、2公民館で開催した「郡山市立美術館所蔵品展」では、出品リストを兼ねたチラシを制作し、各地域の全戸及び市内各施設に配布した（いずれもA3判二ツ折、両面4色）。

郡山市立美術館 2017秋・冬プログラム
KORIYAMA CITY MUSEUM OF ART
AUTUMN-WINTER PROGRAM 2017
長期休館のお知らせ
郡山市立美術館は、豊野化した施設の改修工事のため、下記の期間を休館いたします。
※休館中は入室ご不要となりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。
【休館期間】2017年10月1日（日）～2018年7月6日（日）まで

2018年夏、再オープン

休館中は、様々な展示を開催いたします。ぜひご参加ください。

アート・カフェ in 郡山市立美術館
「日英風景の競演—湘南の自然とともに—」
11月19日（日）
11月26日（日）

郡山市立美術館

秋・冬プログラム 表

AUTUMN-WINTER PROGRAM 2017
郡山市立美術館所蔵品展
「日英風景の競演—湘南の自然とともに—」
11月19日（日）
11月26日（日）

アート・パズル in 郡山市立美術館
11月26日（日）

アート・カフェ in Deep 作品展覧会

美術教育プロジェクト
「文字・美術」
「社会・美術」
「音楽・美術」

郡山市立美術館

裏

郡山市立美術館 2018冬・春プログラム
KORIYAMA CITY MUSEUM OF ART
WINTER-SPRING PROGRAM 2018
長期休館のお知らせ
郡山市立美術館は、豊野化した施設の改修工事のため、下記の期間を休館いたします。
※休館中は入室ご不要となりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。
【休館期間】2017年10月1日（日）～2018年7月6日（日）まで

2018年夏、再オープン

休館中は、様々な展示を開催しております。ぜひご参加ください。

アート・カフェ in 郡山市立美術館
「スペシャル・アート・カフェ レコード寄席〜味な風景〜」
3月3日（土）

郡山市立美術館

冬・春プログラム 表

WINTER-SPRING PROGRAM 2018
スペシャル・アート・カフェ
レコード寄席〜味な風景〜
3月3日（土）

アート・カフェ in 郡山市立美術館
「スペシャル・アート・カフェ レコード寄席〜味な風景〜」
3月3日（土）

美術教育プロジェクト
「文字・美術」
「社会・美術」
「音楽・美術」

郡山市立美術館

裏

郡山市立美術館 2018春・夏プログラム
KORIYAMA CITY MUSEUM OF ART
SPRING-SUMMER PROGRAM 2018
長期休館のお知らせ
郡山市立美術館は、豊野化した施設の改修工事のため、下記の期間を休館いたします。
※休館中は入室ご不要となりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。
【休館期間】2017年10月1日（日）～2018年7月6日（日）まで

2018年夏、再オープン

休館中は、様々な展示を開催しております。ぜひご参加ください。

アート・カフェ in 郡山市立美術館
「アート・パズル in 郡山市立美術館」
4月21日（日）・22日（日）

郡山市立美術館

春・夏プログラム 表

SPRING-SUMMER PROGRAM 2018
特別展 郡山市立美術館名品展
4月21日（日）・22日（日）

アート・パズル in 郡山市立美術館
4月21日（日）・22日（日）

美術教育プロジェクト
「文字・美術」
「社会・美術」
「音楽・美術」

郡山市立美術館

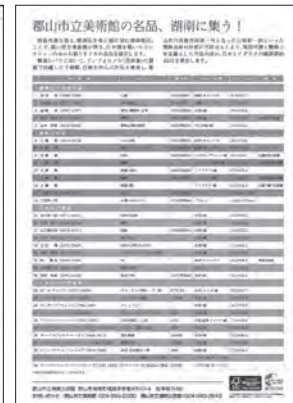
裏



再オープンチラシ 表



裏



「郡山市立美術館所蔵品展 日英風景の競演」チラシ (左から 表紙、中面、裏面)



「郡山市立美術館所蔵品展 逢瀬で魅せます、日本とイギリス」チラシ (左から 表紙、中面、裏面)

VI 管理運営

1 建築設備概要

このたびの改修工事より、設備概要が次のとおりとなった（太字の部分に変更になった箇所）。

■敷地面積	38,420.24㎡
[建築概要]	
■建築面積	3,776.52㎡
■建築床面積	6,848.37㎡
■駐車場面積	3,300㎡ 収容台数 乗用車 123 台 バス 8 台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 1 階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス（二面サンドブラスト加工）
展示室壁	不燃クロス貼ペンキ拭取仕上げ
展示室床	木製フローリング（ホワイトオーク）
■設計	（株）TAK 建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	（株）方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	（株）和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	（株）ユアテック郡山営業所
空調和建設工事	高砂・菱和特定建設工事共同体
情報防火設備工事	（株）ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業（株）
昇降機設置工事	フジテック（株）仙台営業所
■工期	着工：1990（平成2）年12月18日 竣工：1992（平成4）年6月30日
■建築費	40億円
[設備概要]	
■電気設備	
受電	3相3線、6KV、50Hz
変圧器	電灯：単相3線、210/15V、100KVA × 3 動力：3相3線、210V、500KVA × 2、300KVA × 2
蓄電池	シール形鉛蓄電池 100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン 228PS、出力 3相 200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、 LED スポットライト、直管式 LED
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV 監視装置（監視カメラ、14型カラーモニター・四分分割型）
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

■空気調和設備

熱源設備

空冷ヒートポンプチラー（圧縮機 50KW）4 台

暖房能力：524KW、冷房能力：724KW

水冷チラー（圧縮機 40KW）

暖房能力：198KW、冷房能力：157KW

空調設備

4 管式恒温恒湿制御方式（収蔵庫系統）、4 管式再熱制御方式（展示室系統）
VAV 方式（普及部門諸室系統）

外調機+ファンコイルユニット方式（事務管理諸室系統）

空調機+ファンコイルユニット方式（エントランスホール・ロビー系統）

その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

■給排水設備

給水設備

圧力給水方式 受水槽 10m³、副受水槽 1.5m³

給湯設備

電気温水器（貯湯量 224 ℓ、10KW）電気湯沸器（貯湯量 40 ℓ、4KW）

消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消化設備（収蔵庫）

■くん蒸設備

常圧・減圧兼用式 4.0m³、ミニガスベンベ脱着方式

■昇降機設備

乗用

750Kg、11 人乗り（車椅子対応）

荷物用

3,000 Kg、油圧加速制御

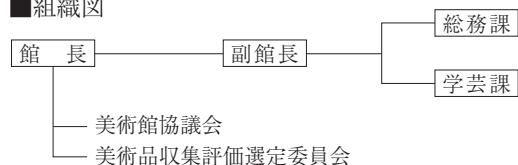
テーブルリフター

2,000 Kg

2 郡山市立美術館職員名簿

参事兼館長	佐治ゆかり
主幹兼副館長	佐藤 秀彦
主幹兼総務課長	神 彰
総務課主査	内島久美子（～平成 30 年 3 月 31 日）
総務課主査	田母神知恵（平成 30 年 4 月 1 日～）
総務課主任用務員	柳沼 浩一（～平成 30 年 3 月 31 日）
総務課主任用務員	佐々木直人（平成 30 年 4 月 1 日～）
学芸課長	鈴木 誠一
学芸課主任主査	菅野 洋人
学芸課主任主査	中山 恵理
学芸課主任主査	杉原 聡
学芸課主任主査	永山多貴子
学芸課主任学芸員	富岡 進一
学芸員	田中有沙子
学芸員	新田 量子

■組織図



3) 利用案内

■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2

Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350

E-mail : bijutsukan@city.koriyama.lg.jp

ホームページ

<https://www.city.koriyama.lg.jp/bijutsukan/>



■開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

■休館日

毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

■交通案内

●郡山駅から美術館まで約 4km

●乗用車 駐車場 (123 台、バス 8 台収容・料金は無料)

●バス

郡山駅前 5 番のりばから『美術館経由 東部ニュータウン行』乗車、「郡山市美術館」下車すぐ。(所要時間 10 分)



■観覧料

	常設展		企画展	
	個人	団体 (20名以上)	個人	団体 (20名以上)
一般	200円	150円	規模・内容等に応じて、その都度定めた額	
高大生	100円	70円		
65歳以上	無料			
中学生以下			無料	
障害者手帳をお持ちの方	無料		無料 (手帳を提示)	

※休館中の関連記事、報道、作品貸出及び作品修復については各当該年報を参照のこと。

郡山市立美術館改修工事及び休館中の活動報告 平成29-30年度

平成31年3月29日発行

発行 郡山市立美術館

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

TEL 024-956-2200 FAX 024-956-2350